
ずれた感覚のお嬢ちゃん

皇帝の宿命

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ずれた感覚のお嬢ちゃん

【Nコード】

N8886F

【作者名】

皇帝の宿命

【あらすじ】

なにかずれた感覚をもつ由香理とその親友で普通の感覚をもつ友夜とのおかしな会話。

「時に…友よ」

長い黒髪を正反対の色の白いリボンで後ろを結びポニーテールをし
ている志村由香理シムラユカリは親友である卓道友夜タクミチユウヤの部屋で正座をマジックシ
ョーのバラエティー番組を勝手に見ていた由香理は友夜…通称『友』
に疑問に思ったことを問おうとしたが先程から友夜は胡座をかき、
ずっとラノベ…涼宮ハ　ヒの消滅を見ていた。友夜は読むのをやめ、
手に持ったラノベをきちんと巻数順に整理された本棚に直した。そ
れを見計って聞いた。

「友よ、このハンドパワーは紛い物だ」

「はい？」

友夜は意味が解らなかった、今バラエティー番組に出ているマジシ
ヤンは世界でも三本指に入るハンドパワーを使う有名マジシャンだ
…それが紛い物と主張するずれた感覚をお持ちの由香理に驚いた。

「紛い物？」

「ああ、私が知っているハンドパワーはこんなものじゃない！」

いや、それ君がおかしいだけだからと心の内に思う友夜と自信満々
に言い張る由香理。一応何故あのマジシャンが紛い物かと聞くこと
にした。

「なんで、紛い物なんだ？」

溜め息混じりに。しかし、そんなことを気にしない由香理は淡々と

語った。

「ハンドパワーとは…粉碎！玉砕！だからだ！！」

と強く手を握り、天に掲げた由香理は威風堂々に見えなくもない…
多分。

「ハンドパワーとは」

何処からともなく、人の頭ぐらいある石を何処からともなく出した。
その石を片手で持ち上げて彼女は高らかに叫んだ。

「こうだ！！」

そして、何処から音も無く出した石を手の圧力で見事に粉碎した…
あとで掃除してくれよ。粉碎された石は床にちりばり、友夜の飲みも
うとしてたココアの中に豪快に入っていた。ちなみに彼女はココ
アは既に飲みきっていたし何よりもコップを頭に乘せていた。

「どうだ、友」

「なにが…」

「これこそ、ハンドパワーだああ！！」

やはり、ずれた常識感覚をもつ彼女…由香理はもう手遅れかもしれ
ないがここは一応。

「すごいな…」

「だろっ！！」

誉めよう、これも彼女なりの頑張りだと僕は思う…心の奥底では
「ツッコめよ！」ともう一人の僕が叫ぶが無視しよう。それが幸せ
につながるんだ…きっと。

「あっははは！」

彼女は笑う…ずれた感覚を持ちながら、笑った。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8886f/>

ずれた感覚のお嬢ちゃん

2010年11月2日03時47分発行